

故澄田信義前島根県知事（平成二十一年六月十三日ご逝去）に
対する追悼の言葉（要旨）

（平成二十一年六月定例議会冒頭、議長の弔意表明に続き）

この機会に、私からも、故澄田信義前知事に対しまして、追悼の意を表したいと思えます。

少し前、体調を崩されたということをお聞きし、お見舞いにお伺いしたいと思っておりますその矢先のことでありましたので大変驚きました。

澄田前知事は、私が知事になる前から存じ上げておりましたが、知事になりましたからは、いろいろな機会にお会いしてご意見をどうもお聞きすることがありました。

いつも丁寧で、誠実なご対応をしていただき、その温かいお人柄に深く感銘を受けておりました。

また、私は知事になりました、過去の県政発展の歴史を勉強する中で、澄田知事が在任二十年の間、島根の発展のためにいかに尽力されたか、いかに真摯に取り組まれたか、学びました。

澄田知事は、島根発展のための確固たる礎を築かれました。

私どもは澄田知事のあとを受け継ぎ、島根発展のためにさらに努力していかなければなりません。

今、その決意を新たにしながら、澄田知事の県政に対する多大なご貢献に対しまして、心より感謝の意を表し、追悼の言葉といたします。